

教師のことばかけによる学習意欲の向上あるいは喪失 1

— 中学時代を振り返って —

How we can be driven to learn or driven not to by the things the teacher says

— A glance back at Jr. High School —

木村 美奈子 *Minako Kimura*

(デザイン学部教養部会)

問題

本研究は、教員免許取得を目指す学生を対象にして、中学時代を振り返って答えさせた質問紙をもとに、教師のどのようなことばかけが生徒の学習意欲を高めたり、喪失させたりするかを調べた。また、学生らにとって、よい教師とはどのような教師であるか、悪い教師とはどのような教師であるかを記述させ、現代の若者の理想とする教師像を描くことも目的の一つとした。それらを分析することによって、今、教師に求められている資質や量がいったいどんなものなのかを解明する手がかりとしたい。

近年、学校現場では、いじめや不登校など様々な問題が大きく取り上げられている。これらの問題は、生徒の学校への不適応がもたらしている場合が非常に多い。生徒は学校生活の中で、学業達成や進路選択の問題、友人関係など良好な人間関係形成の問題など、多くの課題を乗り越えていかなければならないが、これらの課題がうまく乗り越えられない場合、学校不適応を起こすと考えられる。そうした中で、生徒に対する援助資源として、教師の重要性が改めて指摘されている (大野, 1997)。教師と生徒の関わりのいかんによって、生徒の学校適応や学習意欲、人格形成にまで影響が及ぶことも示唆されている (浜名・松本, 1993; 河野, 1988)。本研究ではまず、大学生に中学時代の教師との関わりの経験を尋ねることで、今、振り返って教師をどのように捉えているかを調べた。すなわち、どのような教師が好感を持たれ、どのような教師が嫌悪感を持たれるのかの傾向を探った。

また、教師との関わりでいえば、特に、学習場面での教師の影響をみる必要がある。学習場面では、教師のことばかけが生徒の学習の動機づけにどのように影響しているだろうか。これまでの動機づけの研究では、帰属理論 (Heider, 1958) や自己効力感理論 (Bandura, 1986)、内発的動機づけ理論 (Deci, 1975) などが注目を浴びてきた。なかでも Deci は内発的動機づけ理論において、外発的な動機づけが内発的動機づけへと移行されていくモデルを展開しているが、その移行に重要な必要条件として、密な関係性を指摘している。つまり教える側と教えられる側との間に親密な人間関係が必要であることを強調しているのだ。本研究では、そのような視点から、教師の態度が生徒の学習の動機づけにも大きな影響を与えると考え、では具体的に教師のどのようなことばかけが、生徒の学習動機を高めたり、喪失させたりするかを、上記と同様に、大学生の過去の経験を尋ねることで調べた。

大学生に過去の経験を尋ねることは、中学校時代全体を振り返る中で、客観的に自分自身の心情や教師の態度を評価できると考えたからである。

上記のように学生自身の経験を聞き、教師との関係を振り返ったところで、最後に、教員免許取得を目指している学生が、どのように理想の教師像を描いているかを調べた。すなわち、どのような教師が「良い教師」であり、どのような教師が「悪い教師」であるのかを学生自身のことばで記述させた。学生の理想の教師像を詳細にみることは、現代社会において、教師に求められている資質や能力を知る手がかりになると考えられる。

本研究では、教師を捉える学生の生の声を詳細にみることを目的としているので、質問は自由記述とし、全回答を資料としてまとめ、最後に添付した。

方法

<対象者>教員免許取得を目指す愛知県内の芸術大学の学生 77 名。学年は 1 年から 4 年。調査は 2013 年 7 月に行われた。質問紙に回答する時間は 20 分であった。本論は、教職を目指す学生が、中学の学習指導を考えるために、自らの中学時代を振り返って記入した質問紙をもとにしている。この質問紙の記入は、教職科目である「学習心理学」の授業の一環として実施された。

<手続き>学生らに以下の質問に答えさせた。

1. 皆さんの中学時代を振り返って回答してください。
 - ① 好きな先生はいましたか。どのような先生でしたか。
 - ② 嫌いな先生はいましたか。どのような先生でしたか。
 - ③ 先生に言われて、勉強にやる気の出たことばを書いてください。
 - ④ 先生に言われて、勉強にやる気を失ったことばを書いてください。
2. あなたにとって良い先生とはどのような先生でしょうか。
3. あなたにとって悪い先生とはどのような先生でしょうか。

質問 1 では、過去の経験を尋ね、質問 2、3 では、教職を目指す学生が抱く良い教師像、悪い教師像を尋ねた。

<分析の指標>

(1) 質問 1 の①「好きな先生」、質問 2 の「良い先生」については、複数の学生が取り上げて記述している内容を分類することで 29 の項目でまとめ、それに言及している学生の番号と人数を表 1 に示した。分析では、学生が中学時代にどのような教員に出会い、どのような体験をしているのか、またそのような体験が、教職を目指す学生の理想の教師像と関連しているか否かを考察した。

(2) 質問 1 の②「嫌いな先生」、質問 2 の「悪い先生」についても、上記と同様に、複数

の学生が取り上げている記述内容を24の項目にまとめ、それに言及している学生の番号と人数を表2に示した。分析も上記と同様に、学生の中学時代の体験の傾向と、現在、学生が抱えている悪い教師像の特徴を示し、関連を考察した。

- (3) 質問1の③の質問については、学生の記述した教師のことばを「期待」、「励まし」、「賞賛」、「褒美」、「学習意義」、「挑発」、「その他」に分類し、それに言及している学生の番号と人数を表3に示した。また、質問1の④については、学生の記述した教師のことばを「期待」、「励まし」、「叱責」、「他との比較」、「学習の意義なし」、「否定的な態度(対応)」、「その他」に分類し、それに言及している学生の番号と人数も表3に示した。

表1、2では、同じ学生が複数の項目を記述している場合は、それぞれの項目に、すべて学生番号を記し、学生数をカウントした。したがって、人数は延べ人数である。表4では、学生の記述の文章をやや簡潔にして示した。本人の特定ができないように、個人を推測させる記述は除いてある。

結果と考察

- (1) 質問1. ①「好きな先生」、質問2. 「良い先生」について(表1)

質問1. ①「好きな先生」では、項目1の「授業の内容や話が面白くて、楽しく授業を進めてくれる」先生を記述する学生が最も多く、15人いた。これらの学生は、性格的な特性や、授業以外での接し方のいかんより、授業そのものの雰囲気や質の良さに言及していて、やはり良い教師の条件としては、良い授業ができることが重要であると認識しているようである。これは、2. 「良い先生」においても6人が同じ項目を挙げているし、また質問3. 「悪い先生」の記述でも、「授業がよくない、わかりにくい」教師を挙げている学生が8人いることから推測される。

次に多かった項目としては、教師の性格を示した項目で、項目5の「優しい」先生を挙げる学生が9人いた。また、項目7の「話しやすい、親しみやすい、接しやすい」に分類される記述をした学生も7人おり、教師の受容的な性格や雰囲気が好まれていることがわかった。一方で、項目25の「悪いことは悪いときちんと教えられる」教師(6人)や項目4の「厳しい」教師(5人)が好かれており、優しいだけでなく、メリハリがあり、時には厳しく接してくれる先生も人気があるようである。

3番目に多い項目は、教師の生徒への対応について取り上げた、項目22の「生徒(ひとりひとり)を良く見ている」であった(8人)。この項目は、2. 「良い先生」の記述でも、最も多く取り上げられており(14人)、個性を重視する教育思想の浸透が、このような回答に結びついていることが考えられる。これは、質問2. 「良い先生」の方の項目28「生徒に合わせて指導できる」教師像が多くの子生に取り上げられていることから推測できる(6人)。また、昨今、特に深刻化していると考えられている「いじめ」問題との関連

で考えてみると、生徒ひとりひとりの様子に良く注意を払うことが教師に求められていて、そうしたことも、これらの回答に反映していることが考えられる。教師の生徒への対応に関連する項目としては、他にも、項目 14 の「良く声をかけてくれる」(5 人) や項目 15 の「話を良く聞いてくれる」(5 人) や項目 17 の「根気よく丁寧につき合ってくれる」(5 人) が挙っており、生徒のために時間を割く教師が好まれるようである。項目 15 は、質問 2. 「良い先生」の方でも、最も多く取り上げられており (14 人)、理想の教師像もそのように描かれているようである。諸富 (2013) は、最近の学校における問題として、教師のメンタルヘルスの悪化を取り上げ、その要因として、教師の多忙さを挙げている。そして、多忙さのため、生徒と接したくてもその時間を確保することができない教師のジレンマを指摘している。本研究の結果をみると、そのような状況にあっても、多くの教師が生徒のために時間を割いて対応している姿が浮かんでくる。

質問 2. 「良い先生」、すなわち理想の教師像を中心に見ると、最も多いのは、項目 22 の「生徒 (ひとりひとり) を良く見ている」と項目 15 の「話を良く聞いてくれる」であり (ともに 14 人ずつ)、すでに上で考察した。したがって、次に多く取り上げられているものに注目すると、項目 12 の「生徒目線」に立ってくれる先生が理想の教師として掲げられていた (10 人)。この項目は、質問 2 の「悪い先生」(表 2) で、項目 12 の「生徒を見下す」先生を悪い教師像として捉える学生が多いことと (7 人)、同じ根源を持つと捉えられる。かつての教師は、生徒にも、その親たちにも絶対的な権威者として認識されていたが、今日ではその権威の失墜が指摘されるようになった。その間接的な要因として、諸富 (2013) は、「友達親子の増加」や「親子関係の変質」を挙げている。「友達親子」のなかで、大人との対等な関係を家庭で学んだ子どもは、教師とも対等な関係で接するようになってきたことを指摘している。本研究の結果からも、生徒の目線まで下り、親しみやすく接する教師 (項目 7) は人気があり、理想の教師像としても取り上げられていることから、「友達親子」ならぬ「友達教師」の増加が今後も予想される。

(2) 質問 1. ②「嫌いな先生」、質問 3. 「悪い先生」について (表 2)

まず、質問 1. ②「嫌いな先生」を見てみると、最も嫌われていた教師は、項目 4 の「怒る」教師と (12 人)、項目 21 の「差別する」教師である (12 人)。「怒る」教師について書いている学生の記述を見ると、理不尽なことで怒る教師が取り上げられている。文部科学省による平成 24 年度の「教員のメンタルヘルスの現状」を見ると、「仕事や職業生活におけるストレスの有無」では、教員も一般企業の労働者も、ストレス有りと答える比率に大きな差はないのだが (教員 67.6%、一般企業労働者 61.5%)、「仕事や職業生活におけるストレスを相談できる者の有無」では、「いる」と答えた教員は、一般企業労働者よりかなり少ない (教員 45.9%、一般企業労働者 89.0%)。特に、上司や同僚に相談できる教員は、14.1% ほどで、一般企業労働者の 64.2% を大きく下回る。これらの結果から、ストレスフ

ルな毎日の中で、上司や同僚に相談することもできず、孤軍奮闘する教師の姿が浮かび上がってくる。こうした状況から、ちょっとした生徒の行動に簡単に刺激され、強い怒りとして表現されることも考えられよう。

項目 21 の「差別する」教師に関しては、質問 3. 「悪い先生」でも 2 番目に多くの学生が悪い教師像として挙げているが (11 人)、これは最近の傾向ではなく、かつてから嫌われる教師のイメージとして定着していると考えられる。

質問 3. 「悪い先生」では、項目 14 の「自分の価値観 (意見) を押し付ける」教師を挙げた学生が最も多かった (15 人)。これは、質問 2 の「良い先生」のところでも論じたが、大人との対等な関係のなかで成長してきた学生は、自分の意見や考えが尊重されることを当然のこととして学んできていると考えられるので、生徒の価値観を尊重できない教師は悪い教師としてみなされるのであろう。

(3) 質問 1. ③やる気の出たことば、④やる気を失ったことば

③「やる気の出たことば」で最も多かった項目は、「賞賛」であった (9 人)。この項目の学生の記述をみると、教師に努力している自分を認めてもらえたことの喜びが良く表れている (S10, S21, S53, S64, S68)。ただがむしゃらに褒めるのではなく、日々の生徒の努力を認めることが、生徒のやる気につながるようである。

次に多かったのは「励まし」であった (7 人)。その中には、根拠を示すような励まし (S63: 前回のテストに言及, S65: 見通しを提示) や、自分のことをよくわかっていて「できる」と保証されているように感じられる励ましが挙げられていた (S20, S47)。一方で、④やる気を失ったことばでも、「励まし」を挙げている学生が 4 人いた。中でも S8, S28, S40 は、自分の努力を認めてもらえないと受け取っているようである。「やる気の出ることば」の「賞賛」や「励まし」でも述べたが、やはり自分のことを「良く見ている (わかっている) 教員」によることばかけが、生徒のやる気を引き出すことができると言えよう。このことは、問題でも述べたように、生徒と教師との人間関係の密度が、学習意欲と関連していることを示していると考えられる。

③「やる気の出たことば」で、3 番目に多かったのは「挑発」であった (5 人)。中でも S30, S44 は、教師に理不尽なことを言われて発奮したと推測される。S72, S73, S76 は「できない」と決めつけられたことへの反発を窺わせる。

また、③「やる気の出たことば」の中には、教員が「学習意義」を述べたことでやる気が出たと記述した学生が 4 人いた。学習することによって、心の成長や豊かさにつながると説いたこと (S16, S42, S70)、また学習自体の面白さを強調したことが (S75)、内発的動機づけを高めたと考えられる。

一方、④「やる気を失ったことば」では、「否定的な態度 (対応)」が最も多かった (9 人)。その中には、「決めつけ」と受け取られることばを挙げた学生が 6 人いた (S12, S20,

S30, S43, S60, S64)。特に、S20 は「人格否定」と受け取られることばを挙げており、教師からの理不尽なことばが、中学卒業後 3 年以上経ても、強く心に残っていることが窺われる。

また、④「やる気を失ったことば」では、学習の意義が感じられない（「学習の意義なし」）ことばかけを挙げた学生が 4 人いた。中でも S45、S63、S71 は何のためにその学習をするのかが示されず、ただ言われたことばだけをやっていたらよい、と受け取られることばかけを挙げていた。上述の「やる気の出たことば」においても、学習意義を提示することの重要性が示唆されたが、ここでもそれを裏付ける結果が提示されたと考えられる。

表 1. 質問 1. ①と質問 2 に対する回答の項目とそれを記述した学生の番号および合計人数

項目番号	項目	1. ①好きな先生		2. 良い先生とは	
		学生番号	人数	学生番号	人数
1	授業が面白い、楽しい	S11, S21, S24, S28, S30, S31, S32, S33, S48, S49, S60, S61, S62, S71, S72	15	S41, S47, S49, S50, S62, S71	6
2	わかりやすい	S21, S61	2	S18, S67	2
3	メリハリがある	S9, S58	2	S7, S9	2
4	厳しい	S12, S39, S41, S43, S73	5	S73	1
5	優しい	S4, S9, S17, S19, S26, S40, S49, S54, S64	9	S16, S48	2
6	明るい	S11, S43, S59, S64	4	S10, S43, S67	3
7	話しやすい、親しみやすい、接ししやすい	S3, S50, S51, S56, S57, S59, S66	7	S10, S20, S42, S48, S50, S53, S57, S60, S64	9
8	熱意がある	S10	1	S51	1
9	芯(筋)が通っている	S1	1	S1	1
10	ユーモアが通じる	S12, S39, S48, S54, S76	5		0
11	適切な距離感	S39	1	S35, S36, S49	3
12	生徒目線	S10, S13	2	S10, S13, S29, S47, S55, S56, S73, S74, S75, S77	10
13	褒めてくれる	S2, S20, S23, S47	4	S21, S46, S49	3
14	よく声をかけてくれる	S14, S45, S51, S56, S71	5	S45, S54	2
15	話(意見)を良く聞いてくれる、(親身に)相談にのってくれる	S23, S31, S50, S60, S66	5	S9, S13, S15, S23, S24, S33, S47, S48, S62, S64, S65, S67, S70, S71	14
16	情報をくれる	S8	1	S56	1
17	根気よく(丁寧に)つき合う(教えてくれ)	S45, S58, S62, S65, S67	5	S45	1
18	生徒に対する愛情や思いを感じる	S12, S63	2	S12	1
19	生徒(の気持ち)をよく理解する	S13, S40	2	S9, S14, S31, S34, S38, S45, S60, S69	8
20	生徒の良い所を見つける		0	S46, S77	2
21	生徒と一緒に考える		0	S2, S11, S25, S73	4
22	生徒(ひとりひとり)を良く見ている	S8, S16, S39, S43, S45, S51, S56, S65	8	S8, S17, S18, S20, S25, S29, S37, S39, S40, S43, S44, S50, S64, S72	14
23	差別しない(平等)	S5, S58	2	S13, S20, S67, S69, S77	5
24	生徒を助ける	S16	1	S3	1
25	悪いこと(間違っていること)は悪いと教える	S20, S43, S27, S49, S65, S76	6	S2, S40, S49, S70	4
26	自主性(考え)を尊重する		0	S4, S10, S11, S30, S27, S43, S61	7
27	生徒のことを一番に考える	S20, S44	2	S19, S24, S39, S44	4
28	生徒に合わせて指導する		0	S20, S21, S39, S64, S72, S74	6
29	記入なし	S6, S7, S15, S18, S25, S34, S35, S36, S38, S42, S52, S55, S74, S77	14	S52, S66	2

表2. 質問1.②と質問3に対する回答の項目とそれを記述した学生の番号および合計人数

項目番号	項目	1. ②嫌いな先生		3. 悪い先生とは	
		学生番号	人数	学生番号	人数
1	授業がよくない、わかりにくい	S56	1	S17, S18, S21, S26, S29, S41, S47, S74	8
2	気分(態度、言動)が変わりやすい	S64	1	S3, S39	2
3	厳しい、怖い	S26, S28	2		0
4	すぐに(よく、理不尽に)怒る	S1, S3, S19, S24, S30, S37, S45, S49, S51, S54, S60, S67	12	S1, S6, S10, S19, S45, S57, S72,	7
5	理不尽な(常識のない)行動をする	S3, S12, S22, S24, S46	5	S12, S13, S48, S49	4
6	いやみっぽい	S21, S34, S57, S68,	4		0
7	適切な指導をしない		0	S60, S61, S63, S64,	4
8	熱血教師	S6, S76	2		0
9	怒鳴ったり、威圧的な態度	S15,	1	S49	1
10	八つ当たりする	S20, S64,	2	S65	1
11	ユーモアのセンスがない	S37	1	S62	1
12	生徒を見下す	S24, S37,	2	S8, S40, S44, S51, S55, S71, S73	7
13	生徒の話(意見、希望)を聞かない	S15, S29, S75	3	S2, S10, S18, S50,	4
14	自分の価値観(意見)を押し付ける	S74	1	S3, S8, S11, S13, S16, S23, S24, S25, S31, S39, S50, S54, S58, S59, S74,	15
15	生徒をけなす	S46	1	S60,	1
16	生徒に関心がない	S43, S63, S66	3	S5, S9, S27, S50	4
17	生徒に馴れ馴れしい(不適切な距離感)	S73,	1	S3, S36,	2
18	生徒(の気持ち)を理解していない	S36, S37	2	S19, S22, S28, S34, S38,	4
19	教員になりたくなかった	S16,	1	S29,	1
20	体罰、暴言	S14, S37, S62, S70	4	S1, S14, S42, S62, S67, S68, S70, S76	8
21	差別する	S2, S5, S7, S9, S10, S12, S24, S33, S43, S52, S60, S77	12	S2, S23, S33, S39, S46, S49, S64, S65, S67, S69, S77	11
22	生徒をよく見ていない(一面的に見る)	S25, S56	2	S1, S9, S11, S20, S31, S36, S37, S56, S63, S64, S65,	11
23	やる気がない		0	S10, S46, S51, S58, S71,	5
24	記入なし	S4, S13, S17, S18, S23, S31, S35, S38, S41, S42, S47, S50, S55, S58, S61, S72,	16	S35, S43, S52, S66, S75, S35, S43, S52, S66, S75	10

表3. 質問1.③と④に対する回答の項目とそれを記述した学生の番号および合計人数

1.③やる気の出したことば			1.④やる気を失ったことば		
項目	学生番号	人数	項目	学生番号	人数
期待	S17, S23, S57	3	期待	S36, S28,	2
励まし	S9, S11, S20, S47, S60, S63, S65	7	励まし	S9, S28, S40, S77	4
賞賛	S10, S21, S26, S43, S53, S58, S64, S68, S71	9	叱責	S10, S14, S23,	3
褒美	S14, S27	2	他者との比較	S49	1
学習意義	S16, S42, S70, S75	4	学習意義なし	S45, S62, S63, S71	4
挑発	S30, S44, S72, S73, S76	5	否定な態度(対応)	S12, S16, S20, S29, S30, S43, S53, S60, S64	9
目標提示	S8, S36	2	その他	(S32), S65, S70	3
その他	S1, S29, S39,	3	※(S32)は兄からのことばかけ		

表 4 全学生の回答

学生番号	1. ①好きな先生	1. ②嫌いな先生	1. ④やる気の出たことば
S1	人間味のあるがさつな先生。 芯の通っている先生。	理不尽な怒り方をする先生。 筋が通っていない先生。	「勉強できるのは今のうちだけ。」
S2	美術の先生で、ほめるだけでなく、意見や思ったことなど、作品の指導をしてくれた。	自分のお気に入りの生徒をつくり、授業やテストの点数について差別していた先生。	なし
S3	話しやすい先生。	人間的におかしい。常識ない先生。ヒステリック。	なし
S4	優しい穏やかな美術の先生。	なし	
S5	誰に対しても同じように接してくれる先生。	生徒によって態度が違う先生。	なし
S6	なし	暑苦しい熱血先生。	なし
S7	なし	ひいきする先生。お気に入りの子には甘かったり、お土産を買ってきて、あからさまに態度に出ていた。	なし
S8	完璧な先生。生徒のことをよく見ていて、進路の相談だったり、一人一人のことで情報を収集してくれたり、いじめに発展しそうなきも、上手く対処してくれた。	生徒をわざと怒らせるようなことをする先生。	「一日一ページやれば、いつか完璧になる。」
S9	美術の先生で、「ゆるい」感じではあったが、めりはりがある先生。優しく、結構適当な人。	生徒によって対応を変える先生。	「がんばれ。」
S10	熱血で、生徒の目線で接してくれる先生。合唱コンクールの練習で一緒に歌ってくれた。	少し気取った先生で、合唱コンクールの練習で、歌の指導はせず、指揮者の指導ばかりしていた。	「良くがんばっているね。」
S11	音楽の先生。授業がおもしろく、明るい先生だった。	国語の先生。授業中よく寝ていたので、目をつけられていた。小さいことで注意されたり、成績を厳しくつけられた。	母から聞いたが、「志望校に受かるから大丈夫だ。」と先生が言ってくれた。それを聞いてやる気が出た。
S12	厳しくても生徒のことを思ってくれているのがわかる先生。冗談が通じる先生。	人道に外れたことを平気でいう先生。女子には優しく、男子の相手をしていない先生。	なし
S13	国語の先生。上から目線ではなく、生徒の気持ちを考えてくれた。	なし	なし

1. ⑤やる気を失くした ことば	2. 良い先生とは	3. 悪い先生とは
なし	教師であると同時に一人の人間であることを見せてくれる。筋の通った先生。嫌われ役も買ってくれる先生。	理不尽なことで怒る先生。生徒のことを知ろうとせず、周りの意見や見た目と物をいう先生。簡単に人の傷つくことをいう先生。
なし	生徒に、良い悪いとはっきり言ってくれ、一緒に考えてくれる。	お気に入りをつくり、生徒を差別したり、生徒の意見に対して、ちゃんと答えてくれない先生。
なし	さりげなく生徒のアシストができる先生。叱るのがうまい人。客観的に物事を判断し、生徒にうまく説明できる先生。	人との距離の測り方がへた。自己中心な先生。すぐに感情的になる。自分の意見を押し付ける。
	自分のやろうとしていることを否定せず、背中を押してくれる先生。	努力を認めてくれない先生。
なし	生徒としっかり向き合おうとする先生。	生徒と向き合わない先生。
なし	バレンタインデーにチョコをもらえるような先生。	授業で怒る先生。
なし	ちゃんとしなければならぬところで、ちゃんと出来る人。メリハリや切り替えがちゃんとできる先生。	自分だけの先生。
なし	視野が広くて、生徒をよく見て行動に移す先生。	生徒をばかにしているような先生。押し付けがましい先生。
「もっとがんばれ。」	一緒に勉強などをやってくれる。メリハリがある。いっぱい話してくれる。厳しすぎず、優しくすぎず。相手の気持ちがわかる先生。	相手のことをわかってとせず、決めつける先生。しっかり向き合ってくれない先生。
先生ではなく親だが、「なんでこんな計算もできないの。」	生徒の目線にたってくれる先生。自主性を尊重してくれる先生。親しげな先生。良く笑う先生。毎日楽しそうな先生。	必要以上に怒る先生。感情的に怒る先生。話を聞いてくれない先生。強制ばかりの先生。生徒の立場を考慮することすらしない。やる気が明らかでない。生徒が嫌いなのかと思わせるような先生。
国語の授業は先生の問題だけでなく、授業としてもつまらなかったのやる気が出なかった。	生徒と一緒に考えてくれる。自分の考えを押し付けけない。信頼関係がある。	生徒を一つの面からしか見られない先生。悪いところしかみない。考えを押し付けてくる。
「君の描く絵には意味がない。」	生徒の成長を望んでいることが、行動や態度からわかる先生。	人としてだめな人。
なし	上から目線ではなく、生徒の話をちゃんと聞いてくれる先生。生徒で態度を変えない。	偉そうな態度で、細かい先生。人の悪いところばかりあげる。自分の意見を押し付けて、生徒の意見を聞かない。

学生番号	1. ①好きな先生	1. ②嫌いな先生	1. ④やる気の出たことば
S14	病気のどこを気遣って、何かと「がんばってるな。」と言ってくれた。	「私、あなたのこと好きじゃない。」と平気で言える先生。	「一回100点とったら、昼おごってやる。」
S15	なし	話を聞かず、いつも怒鳴る先生。	なし
S16	常に生徒に気をくばり、何か悩んでいると、生徒に寄り添い、助けてくれる先生がいた。	「給料をもらっているから、いやいやお前たちに教えているんだ。」と言った先生がいた。	「教養は心の糧で、精神をを成長させる。」
S17	優しく、仲の良かった先生。	なし	点数がよかったときに、先生に見直されて、次も期待されたとき。
S18	なし	なし	なし
S19	生徒に対して優しくかった先生。	何か失敗するとすぐ責めてきた先生。	なし
S20	良いことは褒めてくれるけど、悪いときは本気で叱ってくれる先生。自分のことよりも、生徒のことを一番に考えてくれた。友達感覚で仲が良かった。	自分の思う通りに行かないと、機嫌が悪くなり、八つ当たりをしてくる先生。変な目で見てくる先生。	自分のことをよくわかっている先生に、「お前はやればできる。できないことは絶対ない。」と言われたとき。自分のことを知らない人に言われてもやる気はでない。
S21	おもしろくて、教え方がわかりやすい先生。	怒り方が嫌みっまい。	自分でも自信を持っていたことを褒めてもらったとき。
S22	美術の先生。中学時代、美術の楽しさを教えてくれ、自分の美術のセンスを引き出してくれた。	小学校六年生の担任。自分の作品を駄作と言われ、捨てられた。	なし
S23	美術の先生。良く褒めてくれた。保険の先生。なんでも話を聞いてくれた。	なし	「やればできるじゃないですか。これからもっとよくなると思いますよ。」
S24	生徒のために尽くしてくれる先生。授業も楽しかった。	上から目線で生徒を見下し、ちょっと面白く言うとすぐに怒りだした先生。好き嫌いが激しくて、嫌いな生徒はいじめをする人だった。	なし
S25	なし	勉強面ではしか生徒を見ない。	なし

1. ⑤やる気を失くした ことば	2. 良い先生とは	3. 悪い先生とは
「お前たるんでるな。もっとやる気だせよ。」	良く理解してくれる先生。」	人の気持ちを考えず、傷つくとこをいう先生。
なし	生徒の話を親身になって聞いてくれる先生。	自分の考えが正しいと本気で思っている人。
「美術はやる意味がない。」	視野が広く、思慮深く、優しく、知的で、生徒を成長させてくれる。	自分の考えを押し付けてくる人。
なし	生徒の本質を見抜く先生。	授業が分かりにくい先生。
なし	授業がわかりやすい。生徒ひとりひとりみてくれる。	授業の教え方が度を超えて下手な先生。生徒のいうことに耳を傾けてくれない。
なし	生徒のことを考えている先生。	生徒のことを考えてくれない先生。ヒステリックな先生。
「お前らはなにをやっても無駄や。何の為に生まれてきたの？」	良い授業をするだけでなく、生徒を大切にし、一人一人の性格や特徴を分かった上で差別せず、丁寧に教えてくれる先生。個性を生かせるように指導できる先生。最低ラインはひきながらも、フレンドリー先生。	見て見ぬ振りする先生。すぐ心の折れる先生。
なし	生徒ひとりひとりの個性や能力に合わせて指導してくれる先生。分からない問題を教えてくれるというより、どう考えたらいいのかなど、勉強の仕方に関わる部分を教えてくれる先生。叱るばかりでなく、褒め上手な先生。	生徒を無視し、一方的に授業を進める。教え方に工夫がなく、考える熱意を感じない先生。
なし	先生といっても一人の人間だから、人としての生き方をしっかり身につけていて、常に子どもの見本、手本だということを忘れずに意識できる先生。	人間味のない先生。無神経で、人生何となくで通ってきた人。人の気持ちや痛みを理解できない人。
「この前教えたのになんでできないの。」	話を聞いて、親身になってくれる先生。	決めつけてくる先生。好きな生徒とばかり話す先生。
自分には関係ないと相談を断られた。	生徒を第一に考え、生徒の話を聞き、受け入れてくれる先生。	自分の価値観を押し付け、生徒たちの考えを頭ごなしに否定し、さらに自分の考えが一番正しいとおごっている先生。
なし	勉強以外のことでも、生徒と関わり、一人一人の得意、不得意を把握して、一緒に考えていける先生。	勉強のことしか言わない、押し付けてくる先生。

学生番号	1. ①好きな先生	1. ②嫌いな先生	1. ④やる気の出たことば
S26	優しい先生。	怖い先生。	クラスで高得点をとると、発表してくれる先生がいて、そのためにがんばられた。良い点をとると返却の時にほめてくれる先生。
S27	授業はちゃんとしているが、休み時間に一緒に遊んでくれる先生がいた。人として大事なことを教えてくれた。	なし	「これが終わった人から遊んでいいぞ。」
S28	毎回授業の始めに面白い話をしてくれる先生。	厳しい先生。	なし
S29	なし。いじめを受けていたとき、助けてくれるよりも、腫れ物に触るがごとく対応をされたから。	内申点のせいとか、滑り止めの高校を強く勧め、受けたい高校があるのに応援してくれなかった先生。その後、自分の希望した高校に入学できたが、同窓会でその先生会ったとき無視された。教員という仕事は大変な仕事だが、同時に小さい人間にならないぞと決心した。	良いところは良い、悪いところは悪いと教えてもらえた。
S30	美術の先生。自由な授業が面白かった。	理科の先生が更年期でイライラしていた。でもたまにやさしかった。	「次のテストで悪かったら、お前の席はない。」と言われたとき。嫌な言葉だけど、やる気がでた。
S31	いじめにあったとき、とても熱心に相談に乗ってくれ守ってくれた先生がいた。他の先生とは違うナゾの授業をする先生も個人的で好き。	なし	なし
S32	国語の先生。授業がおもしろく、ハキハキ、さっぱりした先生だった。チョイ悪なところも好きだった。	しつこくて、面倒くさい先生がいた。	部活の顧問が、「こんな強いチームだったとは思わなかった。」と言ってくれてやる気がでた。
S33	理科の先生で、とてもかわいらしい人だった。先生の好きなソウリムシの話をしてくれて、おもしろかった。	えこひいきする先生。3年生のとき、内申をのために先生に皆、媚を売っていた。自分も先生といるときは自分を偽って接するのでもとても窮屈でストレスが溜まった。	なし
S34	なし	部活の副顧問。生徒を叱る際に嫌みを言っているように聞こえる先生だった。	なし
S35	なし	なし	なし
S36	なし	生徒のことを理解しているようでしていない先生。	英語の例文を覚えろと言われたとき。必死に覚えたおかげで英語の基礎が覚えられた。

1. ⑤やる気を失くした ことば	2. 良い先生とは	3. 悪い先生とは
なし	良いことでも、悪いことでも、本 当に思ったことを教えてくれる先 生。	教え方が下手な先生。
「この課題が終わったら、次は この課題ね。」	生徒の意見を尊重したうえで、 先生としての大人の意見もくれ る先生。	生徒と関わろうとしない先生。休 み時間は生徒と関わらず、自分 のことしか目を向けられない先 生。
「やればできる。」	わからない。話が納得できる。	子どものことを考えていない。
いじめられているとき、「お 前にも悪いところがあるん じゃないの。」と突き放され た。	生徒の視線を持ち、否定しない 先生。アンテナを上手に張って、 クラスのことを見ることが出来る 先生。	なぜ教員になったかと思える先 生。仕方なく教員をやっている という先生。授業が良くなく、教科 書通り。まず否定から入る。
「わからないのは勉強して いない証拠。」	自分がしてあげる立場ではなく、 あくまで生徒のことを補助する立 場だと認識して行動できる先生。 裏方で動いて、生徒の成功を喜 べる先生。	生徒に理想の子ども像を求める 先生。生徒は一人一人人格が あって、独立した人間と思わない 先生。
なし	生徒の気持ちをわかってあげら れる先生。勉強も大事だけど、 最初は生徒との関わりが大切。	自分の意見しか言わない。授業 が主観的。
兄に「お前は頭が良いの に、妹は全然できない。」と 言われたとき。	先生のために何かしたいと思え る人。	何も見えてない人。
なし	生徒の話を親身になって聞いて くれる先生。生徒を絶対見捨て ない先生。	ひいきする先生。嫌いだからと 嫌がらせをする先生。嫌なことが あるなら正直に叱ったり、話し 合ったりすべき。
なし	若い人の感覚がわかる先生。生 徒の気持ちを考えながら展開で きる。	生徒の気持ちがわからない、わ かろうとしない先生。クラスの生 徒全員が分かっていると思い込 んで授業を進める先生。
なし	きちんとした距離感で話してくれ る先生。	なし
次は期待している等の言 葉。	生徒の特徴をつかんでいる先 生。先生とフレンドリーにしたい 子とは仲良く、関わりを持ちたく ない子には距離を保つ先生。	無駄に生徒との距離を縮め仲良 くならうとする先生。周りが見え ていない。

学生番号	1. ①好きな先生	1. ②嫌いな先生	1. ④やる気の出たことば
S37	美術の先生で、他の教科の成績や態度とは関係なく作品の評価をしてくれた。	注意する際に極端にキれる先生。ユーモアのセンスもないのにつまらない冗談を言ったり、生徒に自分の思ったことを押し付けがましく言うだけで、生徒の気持ちや本質は理解していない。見せしめのために地面にたたき落とされトラウマになった。	なし
S38	なし	なし	なし
S39	怒って出勤簿でたたかれたこともあるが、受け身で生徒のことをよく見ていた先生。無口だけどノリツコミも上手く、いい距離感で皆から好かれていた。	自分のことを気に入っているようだったが、期待が重すぎた先生。その先生の教科の成績は壊滅的だった。	赤点をとったとき、怒鳴るでも慰めるでもなく諭すように「反省して、分析しなさい。」と言われたこと。
S40	音楽の先生。優しく、子どもの気持ちをよくわかってくれた。	その他の先生。授業に沿った試験をせず、成績を落とされて、勉学にやる気を失った。コンプレックスを植え付けられた。	なし
S41	部活の顧問の先生を尊敬していた。音楽の面だけでなく、生活面でも厳しく指導された。先生の機嫌に左右されたときもあったが、とても頑張った中学時代というものを残してくれた。	なし	中学時代、勉強にやる気が出たことがなかった。
S42	なし	なし	「やった分だけ返ってくる。」
S43	本当の身内かのように、いけないことはだめと怒鳴りながらも教えてくれた先生。生徒のことを良く見ていて、通知表にも生活面の良いところがたくさん書かれていた。いつも明るく、母親のような先生	生徒に無関心な先生。自分の授業の成績がいい子に重点的に教えて、悪い子はほったらかし。	美術には関係のない先生に絵を褒めてもらえて、その先生の授業にもやる気が出た。
S44	生徒のことを一番に考えている先生。学級通信をマメに出して、生徒と関わろうとしていた。	やる気がからまわっている先生。教室で浮いていた。	「お前らなんか、どれだけやっても成果は出ない」と言われて、むかついてたくさん勉強してやった。
S45	少しおせっかいで、授業で言葉が詰まったりする国語の先生。生徒のことを良く見て考え、話しかけてくれるところが好きだった。質問にも丁寧に答えてくれた。卒業式の日、写真と生徒一人一人に合った漢字とそれを説明する手紙を渡してくれた。	理不尽な怒り方をする先生。怒る生徒も決めつけていた。	なし

1. ⑤やる気を失くした ことば	2. 良い先生とは	3. 悪い先生とは
なし	生徒の本質をきちんと見分けられる先生。その努力をする先生。	自己中、表面しか見られない先生。知ったかぶり。
なし	生徒の気持ちをわかってあげられる先生。	生徒の気持ちがわからない、わかろうとしない先生。
なし	自分の感情や気分、損得で怒ったり寝めたりしない。生徒に考えさせる機会を与える先生。生徒のことを一番に考える先生。生徒のいいところ分かっている先生。生徒を良く知っていて、態度は変えないけど、生徒に合わせて対応を変えられる先生。	自分の考えを押し付ける先生。自分が正しいと思っている。正論を武器にする人。誰が見ても分かるえこひいき。生徒によって態度を変える先生。自分の感情で言うことがコロコロ変わる先生。否定的な人。
「きみの部みんながんばっている。」自分のがんばりや努力を認めてもらえてない気がした。	生徒の良い部分を見つけ、のばしてくれる先生。悪いところがあれば、直すように教えてくれる先生。叱るときは体罰は与えず、感情を表に出さない先生。	勉強ができない生徒をばかしたり、悪い方へと落としていく先生。
元々やる気がでなかった。	授業がおもしろい先生。	授業がおもしろくない先生。時間を守らない先生。
なし	生徒をやる気にさせ、接しやすい人。	暴言や暴力をふる人。
「君のレベルでこの高校は難しい。」と親の前でいわれ、親にも「なさない子。」と言われた。やる気もすべて失せた。	誰にでも明るく接して、生徒のことをよく見ている先生。生徒の自主性を伸ばしてくれる。	なし
なし	生徒のことを一番に考える先生。生徒のことを良く見てアドバイスできる、生徒に近い先生。	教えてやっているという態度の先生。言われないと出来ないと思っている先生。
「とりあえず授業だけでも聞きな。」	生徒のことを考え、声をかけて、丁寧に接してくれる先生。	理不尽に怒る先生。生徒に少し恐怖感を与えた方が良く思っている先生。変なところで好感度をあげようと優しくしてくる先生。

学生番号	1. ①好きな先生	1. ②嫌いな先生	1. ④やる気の出たことば
S46	受験のときに言ってくれた一言が励みになった先生。	英語の先生で、発音できないことを、笑いながら指摘され、何度も言わされた。	なし
S47	普段は優しいが、叱るときは叱る先生。	なし	「君ならできる。」
S48	体育の先生で、ノリがよく、冗談を言っても面白く返してくれた。雑談が面白かった。その先生の雑談をクラスみんなが聞いたかった。	規則に厳しすぎる先生。特に服装のチェックが厳しく、いろいろと服装の規則をつくって、煩わしく思った。	なし
S49	一年の副担任の先生の授業がわかりやすく、いけない事もちゃんと教えてくれた。優しかった。	よく怒る先生。入学して最初の授業で恐怖を味わった。今思えば、私が一方的に苦手意識を持っていただけで、悪い先生はなかったように思う。	なし
S50	とても親しく、自分の意見を聞いてくれる先生。	なし	なし
S51	生徒に近い存在で気楽に話せる先生。共通の趣味を持っていて、すれ違ふと声をかけてくれたり、見ていてくれているという安心感が嬉しかった。	堅物で、すぐ怒る先生。いつもびくびくしていた。	なし
S52	なし	英語の先生で、自分の気に入った生徒の話しか聞かず、差別をしていた先生。	なし
S53	国語の先生。言うことは難しく、何を言っても反論されたが、皆に好かれていた。3年間めんどろを見てくれた。	考えの古く、頑固な数学の先生。自分が数学が嫌いだったこともある。	ノートをとてもわかりやすく、まとめてあると言われ、もっときれいにノートをとりたいたい、とやる気がでた。
S54	音楽の先生。優しくて、ユーモアのある先生。	すぐ怒る先生。	なし
S55	なし	なし	なし

1. ⑤やる気を失くした ことば	2. 良い先生とは	3. 悪い先生とは
なし	がんばったときは褒めてくれる先生。視野の広い人。個性や良いところを見つけられる人。	やる気のない人。一部の人のことしか見ていない人。めんどうなことは拒絶する人。
なし	生徒の目線で親身になって話してくれ、授業がおもしろい先生。	授業がわかりにくく、分かりにくい授業を改善しようとしないう先生。
なし	生徒とふれあってくれる先生。質のいい授業をする先生でも、質問は後にして、とか授業が終わったらすぐ帰ってしまう先生は尊敬できない。授業後ゆっくり話を聞いてくれたり、生徒と雑談するような、優しく、親しみが持てる先生。	理不尽な先生。
「他のクラスの平均点はもっと高かった。」と比べられたので、やる気がなくなった。	授業がわかりやすく、興味を持ってもらえる授業展開をする先生。生徒との上手な距離感を保ちながら、マナーや教養を身につけさせていけるような教師。悪いことは叱り、上手く出来たらちゃんと褒められる。	人としてどうなんだろうと思う先生。ひいきをしすぎたり、無駄に生徒を威圧する先生。
なし	それぞれの教科の面白さを伝えられる話ができる先生。生徒の意見を出せるようにして、あくまで脇役として教えてくれる先生。授業以外の場でも生徒を見ていて、相談しやすい先生。	生徒の理解度を考えず授業を進め、一方通行で行ってしまう先生。生徒の意見を言う場をつくらず、考えを押し付ける授業をする。生徒と関わろうとせず、生徒の相談にも乗らない先生。
なし	生徒と先生の間関係を分かったうえで、気さくで情熱的で涙もろくて、人間味のある先生。	生徒を小馬鹿にした態度で、専門性もなく、熱意やプライドに欠ける先生。
なし	なし	なし
悪い点をとっても、なにも言われず返されたとき、やる気を失った。	生徒と上手くコミュニケーションの取れる先生。心を開きやすい。堅い人よりやわらかい人の方が話しかけられやすい。怒る先生より少しゆるい先生。	年のいっている先生。昔の考えで、生徒の考えを別のものと考えている。
なし	生徒のために一生懸命教えてくれる先生。どんな生徒にも話しかける。	自分の愚痴を怒鳴るように言う人。自分の考えがすべて正しいと生徒に押し付ける。「アホ、バカ」と軽々しく使う。ただ一つを正しいと思わせたり、日本人はとにかく悪いと話す先生。
なし	自分と同じ目線にたって教えてくれる先生。	上から目線の先生で、訳も分からないところで怒る。うるさい。自分は生徒より偉いと考えているような態度を取る先生。

学生番号	1. ①好きな先生	1. ②嫌いな先生	1. ④やる気の出たことば
S56	先生のおかげで、その教科が好きになった。一人一人の生徒を良く見てくれているのがわかった。変に敬語を使わず、友達感覚で何でも質問することが出来たし、先生のいうことは素直に受け入れることができた。授業時間以外でも、できるだけいろいろな生徒と話すようにしていた。	一人で話して、授業を理解できない先生。他のクラスに対する競争意識がつよく、周りばかり気にして、自分のクラスのことをきちんと見ていない先生。	なし
S57	フレンドリーで生徒との距離が近くて、親しみやすい先生。	言葉がきつく、嫌みのような話し方の先生。	「もっと良い点数とれそうなのに。」
S58	知識の豊富なめりほりのある美術の先生。怒るときはバシッというが生徒が反省するにつこりする。人によって態度を変えず、生徒に丁寧に接していた。	なし	「あなたはこれが得意なのね。」
S59	いつも笑っている先生。フレンドリーでいつも目立つ服を着ていた。	喧嘩したときに、先生が無理矢理相手に謝らせ、その時に事情聴取のようなことをやり、メモにとられたのが実験のようで嫌だった。	なし
S60	授業をおもしろおかしくしてくれる先生。休み時間なども話してくれたりした。	常に怒っている先生。生徒に対して、好き嫌いがあった。	「まだ時間はある。とりえずやってみる。」
S61	数学の先生で、授業が分かりやすく、楽しい。	なし	なし
S62	・数学問題がわからず、個別に教えてくれた先生。 ・よく学校を休み、「学校、面白くない」と言っていた先生で、とても好きだった。よく生徒の頭をなでていた。余談ばかりしていたので授業が面白かった。	学校の始まりに、「君たちを愛している。」と言われ、初めて会ったのにどうして愛せるのかと思った。でも、その後、体罰みたいなことをしだして、生徒にスクワットや正座、忘れ物をしたら、額にマジックでバツを書いたりした先生がいた。	なし
S63	いつも宿題を提出しない私に呆れつつも、家に電話したりしてくれた先生。当時は嫌いだったが、今は感謝している。	自主性を高めるためと言って、生徒にあまり近づかない先生。受験の話もしにくい上に、何かと「大丈夫」と繰り返す先生を信用できなかった。	先生に前のテストよかったから、今回も頑張るね、等言われたとき、やる気が出た。

1. ⑤やる気を失くした ことば	2. 良い先生とは	3. 悪い先生とは
なし	ひとりひとりのことを考えていて、無理に先生だからと思わない先生。生徒と同じ目線で物事を考えてくれて、生徒にいろいろな道を提示してくれ、たくさんの選択肢をくれる先生。自分の考えを押し付けるのではなく、考えることのきっかけをつくって、あとは見守ってくれるような先生。	目先のことばかりに目がいって、生徒のこれからのことをあまり考えず、表面的にしか生徒を見ていないような先生。
なし	生徒との距離が近くて、友達に近いような先生。話しやすく、心を開きやすい。	悪いところばかり見つけて、怒る先生。
なし	人として尊敬できる先生。	授業にやる気のない先生。はじめから一人授業。自分の考えをおしつけてくる先生。叱る時に根拠がしっかりしていない先生。
なし	生徒と向き合ってくれる先生。お前はこうだからだめなんだといわれても、ちゃんとなぜだめなのか、どうしたら良いのかを教えてくれる先生。もちろん自分で考えることも大切だが、人の意見から学ぶことも必要。	先生の型に生徒を無理矢理はめようとする先生。生徒の意思より自分の考えを優先させる人。笑わない人。
「時間がないから無理。」	生徒の気持ちを考えてあげられる先生。友達みたいな先生。	生徒をけなす先生。いい加減過ぎる先生。生徒の前で精神的に弱い顔を見せる。受験時にこれをやられると、生徒側も不安になる。
なし	ほどよく適当で、クラス行事とかをクラスの生徒に考え、運営させるような、「生徒に考えさせる」先生。	注意のできない先生。授業中のおしゃべりを注意できない先生はだめ。
「数ブリ(毎日1枚100問の数学プリント)」という単語をきくだけでやる気がなくなった。	しょっちゅう休む先生だったが、余談が面白くて、弱い立場でものをみて、話をよく聞いてくれる先生。	体罰がひどい先生。自分がない。ユーモアがない。魅力がない。
「赤点じゃなければいいよ。暗記すればできるよ」	生徒に関心をもち、接しようとしてくれる先生。自分に興味を持ってくれる人というのは嬉しい。	生徒のことをよく見ていない先生。叱れない、強く注意の出来ない先生。授業の進行に影響が出る。

学生番号	1. ①好きな先生	1. ②嫌いな先生	1. ④やる気の出たことば
S64	担任の先生。いつも明るくて、優しく、みんなのお母さんみたいな先生。ぐれずに悪い方へ行くのを止めてくれ、勉強に向かうことができた。	部活の先生。体力をつけなければいいという考えが嫌いだった。機嫌の悪いときは生徒にあたってストレスを発散する。試合に使えることをしたいと言ったら、レギュラーから外された。気分屋の先生が嫌いだった。	「頑張ってるのも、人一倍努力しているのも知ってるからね。」
S65	担任の先生。些細なことでもクラスの変化があると気にかけて、お母さん的な存在の先生。はっきりした性格で、間違っていることははっきり言ってくれ、分からないことは何でも教えてくれた。	完璧主義の先生。完璧さを生徒にも押し付けてくる。	数学の先生に「今ちゃんとわかるようになれば、その後もわかるようになるよ。」と言われ、粘り強く1問を解くことに必死になった後、他の問題が簡単に思えて、先生の言ったとおりだと実感できたら、他にもどんどん解こうという意欲が出た。
S66	担任の先生。常に生徒のために何かしていた。生徒の近くにいる存在で、心がゆるせる先生。何にでも興味があり、すぐに実行に移す。何でもこなせてスキがない。何に対しても相談に乗ってくれた。	生徒に関心のない先生。進路で迷っていても、いいアドバイスがもらえず、他の先生に任せっきりの先生。	先生がわかるまで教えてくれたこと。違う教科でも、真剣になって教えてくれた。
S67	美術の先生で、わからないところがあると丁寧に教えてくれた。	数学の先生。怒ると物に当たっていた。	なし
S68	国語の先生で部活の副顧問。雰囲気が好きだった。	頼まれことをしたときに、なかなか終わらず、「要領が悪いわね。」と言われて、気にしていたことだったので、その先生が嫌いになった。	「だんだん成績が上がってるよ。がんばってるよ。」親にはあまり褒めてもらえなかったので、先生に褒められると嬉しかった。
S69	頭がやわらかく、頭ごなしに怒らない先生。	授業中に関係ない話をして、それを聞かないと怒る先生。給食に力を入れていて、気に入らないことがあると、給食をおあずけにした。	なし
S70	生徒のことを自分の子どものように相手をしてくれる先生。	自分の思い通りにいかないと手を上げる先生。言っていることとやっていることが矛盾していた。	「勉強しようがしまいが自分次第だけど、勉強するやつは人間的に豊かになる。」
S71	はきはきした理科の先生で、科学の実験を身近なことに例えて説明してくれた。授業中にプライベートなことを持ち出して、楽しくしゃべってくれ、生徒によく話しかけて、趣味の話で盛り上がった。	数学の先生で、すぐ舌打ちした。忘れ物をした時に舌打ちをされて、イラツとした。	ほめられるとやる気がでた。

1. ⑤やる気を失くした ことば	2. 良い先生とは	3. 悪い先生とは
「おまえじゃこれくらいが限界だ。これ以上、上げようせず、他の教科に時間を費やせ」これ以上やっても無駄と聞こえて、悔しくてショックだった。	親身になってくれる先生。見えないうちまで細かく見てくれる先生。生徒ひとりひとりを大切にしてくれて、先生という立場を大切にしてくれて、話しやすく、アドバイスをくれて、支えてくれる先生。	見た目だけで判断する人。お前は今のだからと決めつけて、そこから抜け出せない人。言っていることが人によって変わり、信念を持たず、筋が通っていない人。悪いことをしている生徒がいても、「そこは入れないところだから」と言っていて、注意することから逃げる人。
「受験生だから勉強して当たり前。」すべてのやる気がなくなった。言われなくてもやっている！という反抗心が強くあった。	ちゃんと自分の考えを持って、物事ははっきり言ってくれる先生。自分は中高のとき、親身になって話を聞いてくれるだけでなく、導いてくれるアドバイスを求めていた。	生徒の内面を考えず、テストの点数だけでだめ出しする先生。生徒によって態度を変えたり、自分が疲れている時に八つ当たりのようにイライラする先生。
なし	なし	なし
なし	親切で生徒のことを考えて授業をする先生。えこひいきをしない。親身に相談にのってくれる。明るくて元気がある。授業では雑談が少ない先生。分かりやすく教えてくれる先生。	ひいきする先生。嫌いな生徒に冷たくする先生。暴言を言ったり、体罰をする先生。セクハラをする先生。
なし	嫌な事を言わない(暴言とか)。	ひどい事をいう先生。
なし	生徒の気持ちが変わり、誰にでも平等な先生。	不平等な先生。
成績に絡ませてくる言葉。	先生の仕事だけでなく、生徒に親身になってくれる先生。媚を売らず、良いこと悪いことをはっきり言ってくれる先生。	すぐ暴力で分からせようとする先生。自分の利益しか考えない先生。生徒をめんどうくさそうに見る人。
数学の先生が「公式覚えるだけじゃん。」と言ったとき、無意味だと思った。	生徒と楽しく授業してくれる先生。勉強以外の話もたくさんしてくれて、アドバイスをくれる先生。	やる気のない先生。ばかにする、態度が悪い先生。

学生番号	1. ①好きな先生	1. ②嫌いな先生	1. ④やる気の出たことば
S72	社会の先生。面白い話を色々してくれて、授業が楽しかった。	なし	「次のテストは皆さん絶対満点とれません。」と言われたとき。必死に勉強して、最高得点が取れた。
S73	部活の先生で、とても厳しいけれど、がんばりを認めてくれた先生。恐れずに、難しい曲もやってみようと思った。	あまり話したことないのに、馴れ馴れしい先生。	「志望校の受かる確立は半分くらいかな。」
S74	なし	自分の意見を押し付けようとする先生。	なし
S75	部活の顧問の先生。	生徒の意見を親身になって聞いてくれない。	「勉強は追求するほど面白くなる。」
S76	美術の先生。おおらかでおもしろい人。悪いことをしたときはちゃんと説教もしてくれる先生だった。	一年の担任。熱血で基本好きだけど、テンションについていけないかった。	「人は楽な方へ流れて行くもの。」
S77	なし	男女差別をする先生。	右に同じ。

1. ⑤やる気を失くした ことば	2. 良い先生とは	3. 悪い先生とは
なし	生徒のことをよく見て、適切なアドバイスができる先生。	生徒を理解していない先生。叱るときなども理由を聞かないで、頭ごなしな先生。
なし	生徒の立場にたって、一緒に考えてくれる先生。上からものを言うのは良くない。厳しくても、その子のために思って行動できる先生。	その反対(左記の良い先生の記述の逆)。
なし	生徒ひとりひとりの個性に合わせる先生。生徒と同じ目線になって話をしてくれる先生。	自分の考えが正しんだといろいろ押し付けてくる先生。教え方が悪い先生。
なし	生徒の立場にたって、発言できる先生。自分の考えを押し付けない。	なし
なし	仕事をしっかりこなす人。ポジティブで、でも人の駄目な所、弱さを分かっている人。	過度な暴力をふるう人。
受験のときに、「がんばれ。」という言葉にいらついた。	生徒の目線になり、感動を共感したり、性別で差別をせず、嫌だと思ふ人がいても、表に出したりせず、その人の良い所を見つけ出し、好きになっていくことが出来る先生。	差別する先生。思慮のないことを言って、生徒同士が喧嘩になるきっかけをつくるような先生。

(4) まとめと今後の課題

本研究では、学生に自らの中学生時代を振り返らせ、好きな教師と嫌いな教師について記述させた。また、それらを踏まえ、理想の教師像や悪い教師像についても記述させた。その結果、授業を面白く、楽しくできる教師が最も好きな教師として記憶に残っているようであった。このことは、教師の力量を考えたときに、授業の展開を工夫したり、生徒が興味を持ちそうな事柄を研究し、授業に取り入れることができる力が重要であることを示唆している。また、生徒ひとりひとりをよく理解し、生徒と親しい関係をつくることのできる教師も、好きな教師や良い教師として挙げられていた。生徒とよい関係をつくるためには、時間をかけて生徒と接していく必要があるが、多忙な教師にとって、それは簡単なことではない。しかし、本研究が示した結果は、そうした努力が生徒の印象に強く残り、ひいては理想の教師像を描く際に大きな影響を与えることを示唆した。

教師のことばかけと学習意欲の関係を見る質問からは、やはり生徒をよく理解した上でのことばかけが最も学習意欲を高めることが示唆された。このことは、問題で論じた、生徒と教師の人間関係の密度が学習意欲と関係しているという説を指示する結果となった。すなわち、生徒と教師との親密な関係性が前提となって、はじめてことばかけが有効になってくることが、本研究でも示されていると考えられる。

本研究は、教職を目指す学生が、教師に求められる資質や力量をどのように考えているかを知る貴重な資料を提供できたと考えている。しかし今回は、学生の回答が自由記述であったため数量的な分析ができず、客観的な証拠を示すことができなかった。今後は、数量的な解析が可能な質問紙による調査を行い、科学的な根拠を示していく必要がある。また、今回は中学校時代を対象として研究を行ったが、次には高校時代を対象にすることで比較を行い、どのような違いが現れるかを分析したいと考えている。そうすることで、発達の観点からも、学生の抱く教師像を分析することが可能だと考えられる。

文献

- Bandura, A. 1986. Social Foundations of Thought and Action: A social cognitive theory, Englewood Cliffs, N.J.: Prentice-Hall.
- Deci, E. L. 1975. Intrinsic Motivation, New York: Plenum Press.
- 浜名外喜男・松本昌弘. 1993. 画急における教師行動の変化が児童の学級適応に与える影響. 実験社会心理学研究, 33, 101-110.
- Heider, F. 1958. The Psychology of Interpersonal Relations, New York: Wiley.
- 河野義章. 1988. 教師の親和的手がかりが子どもの学習に及ぼす効果. 教育心理学研究, 1988, 36, 161-165.
- 諸富祥彦. 2013. 教師の資質—できる教師とダメ教師は何が違うのか. 朝日新聞出版.
- 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課. 2012. 「教員のメンタルヘルスの現状」資料より出典. 「教員のメンタルヘルス対策および効果測定」(2008, 東京都教職員互助会, ウェルリンク株式会社), 「平成14年労働者健康状況調査」(厚生労働省). http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/088/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2012/02/24/1316629_001.pdf
- 大野精一. 1997. 学校教育相談とは何か. カウンセリング研究, 30, 160-179.